

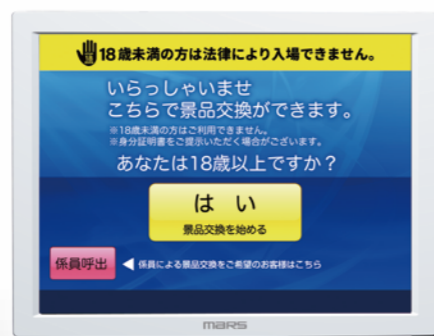
[セルフ交換POS]



景品交換を自由に！ホール業務の省力化を推進！
新しい景品交換のスタイルをご提案！
セルフ交換対応POS



景品レシート、景品カード、会員カード、携帯電話、ICストラップといったすべての媒体に対応



- 時代のニーズを先読みしたセルフ交換POS
- 混雑時は従業員モードに簡単切替!!
- マーススマートウォッチとの連動で、利便性アップ

より利便性が重視される中、変わりつつある賞品交換対応の在り方
進む賞品交換のセルフ運用

コンビニやスーパーなどで増加するセルフレジ。安全性と利便性の高さから利用率は日に日に増すばかりだ。そんな中、業界でも賞品カウンターの完全セルフ運用するホールが急増しているという。

セルフ交換POSの運用スタイルに変化

従来は、対面交換1台、セルフ交換1台といった具合に遊技客が交換場所を選べるPOS運用が一

般的だった。しかし近年、常駐スタッフを1名配置し、賞品カウンターを完全セルフで運用するホールが急増していることはご存じだろうか。中には、1日あたりの利用率が約9割に迫るホールもあり、セルフ交換POSは急速に遊技客

へ浸透している（上表参照）。

セルフ交換によるメリットは利便性向上のほか、経費削減、業務効率化などが挙げられる。例えば

「1回の賞品交換に掛かる時間を60秒」と仮定した場合、上表のA店のケースでは、1日で15・8時間のケースでは474時間、1年では5767時間がセルフ交換される換算となる。裏を返せば、この時間だけカウンタースタッフの業務を効率化することができることになり、その経費も大幅に削減することが可能だ。

**丁寧＝良いとは
言えない時代に**

コンビニやスーパーを中心にセルフレジが広く普及したことで、利用者は利便性をより重視するようになった。中には、長く待つこ

とがストレスと感じる人も多くなったと聞く。ホールにおいても、親切丁寧な対応が必ずしも良いサービスとは言えない時代になり、環境の変化に合わせて利便性を高めたオペレーションが求められるようになる。

マースの「セルフ交換POS」は、対面交換運用へ即時切替ができ、閉店間際の混雑時などにも柔軟に対応できる。さらに、「マーススマートウォッチ」と連動させれば、セルフ交換POSからの呼び出し、遊技台の呼び出しや会員の来店、各種トラブルといった様々な情報がリアルタイムで通知されるため、店舗オペレーションは更に向上する。そしてこのほど、賞品格納庫の賞品枚数が少なくなる通知する新機能を実装した。マース製品群が、これからの時代の賞品交換のスタイルを提案する。



会員限定サービスの一環として運用されることもある「セルフ交換POS」。現在は業務効率化や経費削減、遊技客の利便性向上を狙い、全てをセルフ交換POSで運用するホールが急増しているという。

導入店例 ※1日あたり

A店:総台数1,160台
設置POS 4台のうちセルフPOS 2台

交換総件数	セルフ件数	利用率
1,100件	950件	86%

B店:総台数700台
設置POS 全てセルフPOS(2台)

交換総件数	セルフ件数	利用率
500件	440件	88%



株式会社マースエンジニアリング

住所 東京都新宿区新宿1-10-7

Tel 03-3352-2048

Web www.mars-eng.co.jp

株式会社マースシステムズ東日本

株式会社マースシステムズ東海

株式会社マースシステムズ西日本